

令和7年版

消 防 年 報



豊後大野市消防署東分署

令和7年12月 水槽付きポンプ自動車

令和8年 3月 高規格救急自動車

豊後大野市消防本部
(令和8年刊行)

は し が き

この年報は、令和7年中における豊後大野市消防本部の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、収録の統計資料は、暦年単位で表し、予算関係事項については会計年度で作成しています。また、これらによらないものは当該表に記載しています。

令和8年8月

豊後大野市消防本部

目 次

第1章 総 務

1 豊後大野市消防本部のあゆみ	1 ～ 5
2 管内の概況	6
(1)人口・世帯数・面積	6
3 予算・決算	7
(1)消防予算・決算	7
(2)消防費世帯、人口等対比	7
(3)消防予算、決算 費目別	7

第2章 組織と構成

1 消防本部・消防署	8
(1)組織図	8
(2)消防本部・消防署の事務分掌	9 ～ 10
(3)名称・位置・管轄区域	11
2 消防職員の現況	11
(1)署所別職員数	11
(2)階級別年齢構成	12
(3)職員教養状況	13

第3章 施 設

1 消防庁舎等の現況	14
2 消防車両状況	15
3 消防無線一覧	16
4 消防水利の現況	16

第4章 消 防 団

1 豊後大野市消防団組織図	17
2 消防団の現況	18
(1)年齢別職名別消防団員数	18
(2)在職年数別職名別消防団員数	19
(3)消防団員及び消防団車両の配置状況	20

第5章 予 防

1 危険物及び火薬類等の事務処理状況	21
(1) 危険物施設事務処理状況	21
(2) 火薬類事務処理状況	22
(3) 少量危険物、圧縮アセチレンガス等届出状況	22
2 防火対象物	23
(1) 令別表第1の防火対象物数	23
(2) 中高層建築物の現況	24
(3) 項別防火対象物の消防用設備等設置状況	25 ～ 26
3 各種届出状況	27
(1) 豊後大野市火災予防条例による届出状況	27
(2) 消防用設備状況	27
(3) 防火管理者等の届出状況	27
(4) 指導書及び意見書の状況	27
4 気象の状況	28
(1) 月別温度・湿度状況	28
(2) 月別風速・雨量状況	28

第6章 消 防

1 火災の概況	29
(1) 前年との対比	29
(2) 月別火災状況	30
(3) 曜日別火災状況	30
(4) 月別出動状況	31
(5) 用途別出火原因数	31
2 過去の火災統計	32
年次別火災発生件数	32

第7章 救 急

1 救急の概況	33
(1) 事故種別救急件数	33
(2) 月別発生件数	33
(3) 曜日別出動状況	34
(4) 医療機関別搬送人員	34
(5) 覚知から医療機関等に要した時間別搬送人員	34
(6) 時間別救急出動・搬送人員件数	35
(7) 覚知別救急出動状況	36
(8) 傷病程度別搬送状況	36
(9) 発生場所別出動状況	36
(10) 年齢区分別搬送状況	37
(11) 年齢区分別傷病程度状況	37
2 過去の救急統計	38
(1) 事故別出動状況	38
(2) 月別出動状況	38

第8章 救 助

1 救助の概況	39
活動状況	39

第9章 警 戒 出 動

1 警戒出動の概況	39
出動内訳	39

第 1 章 総 務

1 豊後大野市消防本部のあゆみ

年 月	記 事
昭和44年 11月	大野郡東部消防組合設立準備委員会発足 野津町・三重町・清川村・千歳村・犬飼町の各町村長、消防団長で構成
45年 2月	組合設立許可申請、同許可
4月	消防本部・署の義務設置町村の政令指定
4月	職員 2 名（消防司令 1 名、司令補 1 名）を発令 庁舎の建設、消防資機材の整備並びに職員採用及び教養計画の諸準備
10月	本部・署・派出所起工式
12月	野津分署起工式
46年 2月	消防職員49名を発令 県消防学校初任科へ入校 同年3月初任科訓練終了
4月	本部・署・分署・派出所の開庁及び実働開始（職員52名） （水槽付ポンプ自動車 1 台、ポンプ車 2 台、救急車 1 台、指令車 1 台）
47年 2月	大野町から組合加入についての申し入れ書受付
3月	大野町組合加入を承認議決～組合規約の変更申請
4月	同許可（大野町加入が正式決定 諸準備にかかる）
7月	大分県下消防署長会議を当消防署にて開催
8月	清川村に夜間のみ連絡所を開設 職員 2 名を派遣
48年 2月	消防職員13名を発令 県消防学校初任科へ入校 同年3月初任科訓練終了
4月	大野分署開庁 13名で実働開始（ポンプ車 1 台）
8月	日本消防協会より救急自動車を受領し犬飼派出所に配備 併せて野津分署にも救急車を配備 救急体制の強化を図る
49年 4月	千歳村に夜間のみ連絡所を開設 職員 2 名を派遣
12月	消防ポンプ車 1 台を購入 犬飼派出所に配備
50年 1月	消防本部に課制を設ける。犬飼派出所を分署に昇格
11月	本署通信室の失火事件発生 救急業務協力推進事業委託契約を大野郡医師会と締結
51年 1月	救急業務協力推進事業の実施
3月	県下常備消防相互応援協定調印
4月	大分県消防長会議が当本部に於いて開催される
8月	林野火災特別対策事業の認可申請
11月	職員定数66名を72名に改正する条例議決
12月	指令車兼工作車（三菱ジープ）を購入 本署に配備
52年 4月	新採用 7 名発令（2 名消防学校初任科入校）
6月	広報車を購入 本署に配備
53年 2月	第 1 回消防職員昇任試験を実施 連絡車 2 台を購入 清川・千歳連絡所用に充てる 訓練主塔が完成 九州消防技術指導会に初出場 救急自動車を日本損害保険協会から受領し大野分署に配備 併せて野津分署の救急車を更新
54年 2月	千歳村柴山沈橋においてタクシー押流事故発生 2 名救助
8月	副訓練塔完成
9月	職員定数72名を78名に改正する条例を議決
10月	千歳村大野川タクシー押流事故における人命救助の功績により知事表彰を機関・個人（尾石士長）が受領。同年11月尾石士長他 2 名社会貢献者表彰を日本顕彰会から受領

年 月	記 事
55年 4月 4月 10月	新採用8名発令（9名県消防学校初任科へ入校） 組合10周年記念式典 大分県消防職員意見発表会（当消防本部から3名参加） 消防本部執務体制の強化（予防要員等3名増員）
56年 3月 12月	本署職員車庫完成。水上救助隊県代表で九州大会出場（入賞） 前内田・今俣両婦人防火クラブ県代表として第5回婦人防火クラブ全国大会出席
57年 5月 8月	大分県企業局から電気事業30周年記念としてポンプ車（A2級）受領 陸上救助隊県代表で九州大会出場（入賞）
58年 6月 8月 12月	犬飼分署の救急車更新 日本消防協会から指令広報車（カリリーナ1600cc）を受領 水上・陸上救助隊県代表で九州大会出場（入賞） 清川・千歳連絡車を更新
59年 4月 8月	通信集中指令装置による業務開始 水上救助隊県代表で九州大会に出場（入賞）
60年 1月 10月 10月 12月	大野地区共済組合から予防広報車（スバルサンバー＜軽＞）受領 本署に配備 本署の水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新 野津分署の消防ポンプ自動車（A2級）を更新。消防無線（固定6基）を更新 本署の救急車（トヨタ）を更新
61年 8月 10月 10月 11月	日本消防協会から救急自動車を受領 野津分署に配備 大野分署の消防ポンプ自動車を更新 大分県消防職員駅伝大会参加（3位入賞） 日本防火協会から防火広報車（9人乗り）を受領 本署に配備 婦人防火200万人突破記念全国大会（栃木県宇都宮市）県代表として前内田婦人防火クラブが参加
62年 7月 8月 10月	陸上・水上救助隊県代表で九州大会に5名出場（2名入賞） すがお保育園に婦人防火クラブが結成され県婦人消防操法大会に出場（5位入賞） 犬飼分署の消防ポンプ自動車（A2級）を更新
63年 3月 5月 7月 10月	自治体消防40周年記念東京大会（3名出席） 指令車（セドリック）購入 本署に配備 陸上・水上救助隊県代表で九州大会に7名出場（6名入賞） 千歳村消防団、全国消防操法大会出場（優良賞受賞）
平成 1年 7月 8月 12月	陸上救助隊県代表で九州大会に4名出場 大分県消防署長会議が当本部に於いて開催 犬飼分署にホース塔完成
2年 7月 7月 10月	陸上・水上救助隊県代表で九州大会に4名出場 7月2日大水害発生 豊肥沿線に大水害をもたらす 大野橋、向野橋、原田橋押流 管内各地で人命救助活動 消防組合発足20周年記念式典挙行
3年 8月	日本消防協会から救急自動車受領 犬飼分署に配備
4年 9月 10月	本署救急車を更新 いづみヶ丘婦人消防隊 全国婦人消防操法大会に出場（8位入賞）
5年 1月 8月 9月	4週8休制試行 分署3名当務にて消防車、救急車運用（3部制試行） 百枝婦人消防隊 県婦人消防操法大会に出動（優良賞） 9月3日台風13号による大洪水 各地で土砂崩れ、床下、床上浸水 要救助者11名 総雨量314.2mm

年	月	記 事
6年	3月	消防救急通信指令装置更新 3階に指令室80㎡を増築
	4月	3分署の消防業務を廃し救急派出所に名称変更。清川・千歳連絡所を廃止
	6月	独居老人家庭緊急通報システム受信機の設置
	7月	大野郡東部危険物安全協会設立25周年記念事業として安全号（スズキカルタス）の贈呈を受ける
	7月	消防職員救助技術大会九州大会 4名出場
7年	7月	消防職員救助技術大会九州大会 5名出場
	8月	大野救急派出所防水工事
	12月	野津救急派出所の救急車（トヨタ2400cc）を更新
8年	2月	高度救急資機材を導入 救急三重に整備
	6月	水上救助用ゴムボート船外機付更新
	8月	第25回全国救助技術大会、水上救助隊複合検索出場（入賞）
9年	3月	消防無線機固定2基、移動4基更新 全国波開設
	8月	変電設備（キュービクル）設置
	10月	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車受領 本署に配備
	10月	救急救命士資格取得1名
10年	4月	管理者、副管理者、収入役無報酬とされる
	12月	高度救急資機材を救急野津、救急大野に整備
	12月	大野救急車更新及び広報車を火災原因調査車として更新。無線機（車載2台）更新
11年	3月	救急救命士資格取得1名
	7月	救急資機材消毒器（滅菌）導入
	10月	空気呼吸器2基更新。救急救命士2名資格取得
	12月	無線機（携帯用）6基更新
12年	6月	消防活動服を安全面から難燃性に変更
	7月	高度救急資機材を救急犬飼に整備
	10月	資機材搬送車（4WD 1800cc）本署に配備。救急救命士資格取得1名
	12月	犬飼派出所屋根工事
13年	4月	大分県防災航空隊派遣1名
	7月	九州救助技術指導会に大分県代表として水陸救助隊7名出場（入賞）
	10月	消防組合発足30周年記念式典挙行。救急救命士資格取得1名（資格取得者数8名）
	12月	2B（Ⅱ課程仕様）救急車を犬飼派出所に更新配備。
14年	3月	化学防護服3着を本署に整備
	4月	安田生命相互会社から高規格救急車を受領 本署に配備
	4月	患者監視装置、AED等高度救急資機材を本署救急車に整備
	4月	救急救命士資格取得1名
	8月	大野救急派出所下水道整備
	10月	救急救命士資格取得者1名（資格取得総数10名）
	11月	三重ライオンズクラブ、ライオネスクラブから広報車受領 本署に配備
15年	3月	上下式防火衣20着を本署に整備
	4月	新採用2名発令（定員79名）（2名消防学校入校）
16年	3月	本署2号車（CD1）更新
17年	1月	大野郡東部消防組合から町村合併により野津町脱退
	3月	旧野津地区の消防業務について、当分の間消防業務受託
	3月	市町村合併により（5町2村）豊後大野市が誕生 消防本部の名称が豊後大野市消防本部となる
	4月	旧緒方町、旧朝地町について、当分の間竹田市消防本部に事務委託
	4月	大分県消防長会春季総会 当本部で開催。大分県消防職員意見発表会（エイトピア）

年 月	記 事
17年 6月 12月	大野派出所屋根（防水）工事 指令車更新（旧清川村公用車）
18年 3月	任用替職員 3 名採用
19年 3月 4月 4月 4月 4月 4月 6月 10月	主に朝地町、大野町を管轄する消防分署を大野町大原1293番地に新築移転し開所式を挙 行 臼杵市消防本部に 8 名、竹田市消防本部から15名が身分移管。職員定数を85名に改定 竹田市消防本部・臼杵市消防本部と消防救急事務受委託を解消し、1 市 1 消防本部体 制が確立 実働開始式を挙 行 犬飼派出所、大野派出所、緒方分署をそれぞれ東分署、西分署、南分署に名称変更 水槽付ポンプ自動車を東分署、西分署に配備 東分署水槽付ポンプ自動車を緊急消防援助隊に登録 消防本部屋根（防水）工事 九州ブロック緊急消防援助隊訓練が中津市で開催 消火隊が参加
20年 5月 7月 9月	救助用ゴムボートの更新 九州地区消防救助指導会に県代表として 5 名出場。消防本部庁舎に A E D 設置 第63回国民体育大会（剣道・馬術・ソフト・カヌー）警備
21年 3月 6月 8月 9月	救助工作車購入 大分県防災航空隊派遣 1 名 第38回全国消防救助技術大会（横浜）出場 陸上の部 3 名・水上の部 3 名 高圧空気充填装置更新（移動式）
22年 3月 3月 4月 8月 12月	査察車更新（軽四）本署 水槽付消防ポンプ自動車更新（南分署） 高規格救急自動車更新（本署） 消防団事務移管（総務部～消防本部） 火薬類取締法権限移譲に伴う事務開始 第39回全国消防救助技術大会（京都）出場 水上の部 2 名 連絡車更新（南分署）
23年 2月 3月 3月 4月 8月	高規格救急自動車へ更新（西分署） 東日本大震災被災地へ職員派遣（緊急消防援助隊） （消火隊 5 名、支援隊 2 名【（3/14～3/22 岩手県釜石市鶴住居町】） 指令車更新（指揮車に変更） 朝地町鳥田（神角寺付近）林野火災により8.4ha消失 宮崎県防災ヘリ、自衛隊 ヘリへ消火協力要請 翌日鎮火 消防本部・消防署新庁舎建設着工
24年 3月 3月 5月 10月	消防本部・消防署新庁舎完成（豊後大野市三重町内田2827番地1） 高機能消防通信指令システム導入 消防本部・消防署新庁舎開庁式挙 行 J A 共済より救急医療エアートレントの寄贈を受ける
25年 3月	消防救急デジタル無線整備事業完了
26年 2月 3月	本署支援車、南分署指揮車を更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） 水槽付消防ポンプ自動車更新（本署）
26年 8月 9月	第43回全国消防救助技術大会【千葉】 陸上の部 （広島土砂災害発生により中止） 消防署東分署新庁舎建設着工
27年 3月 4月 8月 10月	消防署東分署新庁舎完成・運用開始 当消防本部初の女性消防吏員採用 第44回全国消防救助技術大会【兵庫】 陸上の部 1 名 高規格救急自動車へ更新（東分署） アステラス製薬から寄贈を受ける

年 月	記 事
28年 4月	「平成28年熊本地震」発生・被災地へ職員派遣（緊急消防援助隊） （消火隊5名、支援隊2名【4/14～4/16 熊本県益城町・熊本県消防学校】）
8月	第45回全国消防救助技術大会【愛媛】 陸上の部1名
10月	資機材搬送車（幌付き）更新（本署）
11月	高規格救急自動車へ更新（南分署）
29年 5月	朝地町綿田地区、地割れ・地滑り災害発生 大分県消防救助技術指導会に当本部から女性初出場
7月	「九州北部豪雨」が発生
9月	台風18号上陸、朝地町の男性が川に流され捜索活動
10月	連絡車〔多目的消防車〕更新（本署）
30年 2月	火災原因調査車更新（本署）
4月	中津市耶馬溪町で山崩れが発生し住民6名が生き埋め 当市で開催予定であった大分県消防長会春季総会及び消防職員意見発表会が中止に
7月	「平成30年7月豪雨」が発生 緊急消防援助隊（5名）を派遣【7/25～28 広島】
11月	平成30年度大分豊肥地区総合防災訓練（大野総合運動公園ほか）
令和元年(31年)	
6月	多言語3者間同時通訳業務運用開始
8月	第48回全国消防救助技術大会出場【岡山】 陸上の部：ほふく救出
2年 3月	高規格救急自動車更新（本署） 日本自動車工業会から寄贈を受ける
4月	大分県域消防指令業務共同運用に向けての協議開始
5月	大分県消防救助技術指導会 コロナウイルス感染症の影響で中止
6月	豊後大野市操法大会 コロナウイルス感染症の影響で中止
8月	当市で開催予定であった大分県下消防署長会議がコロナウイルス感染症の影響で中止
10月	防災倉庫設置（本署）
3年 1月	高規格救急自動車更新（西分署）
3月	消防ポンプ自動車更新（本署）
4月	大分県防災航空隊派遣1名
5月	大分県消防救助技術指導会 コロナウイルス感染症の影響で2年連続の中止
4年 1月	作業車更新（本署）
4月	女性消防吏員2名採用
5月	消防署南分署新庁舎建設着工
	大分県消防救助技術指導会 3年ぶりに開催
11月	大分県消防大会『エイトピアおおの』にて開催
5年 4月	女性消防吏員2名採用
7月	消防署南分署開庁式
8月	第52回全国消防救助技術大会出場【北海道】 陸上の部：ロープ渡過
6年 9月	水槽付消防ポンプ自動車更新（西分署）
10月	おおいた消防指令センター本運用開始
7年 11月	大分市佐賀関大規模火災で196棟の建物を焼損 相互応援協定8名を派遣
12月	水槽付消防ポンプ自動車更新（東分署）
8年 3月	高規格救急自動車更新（東分署）

2 管内の概況

豊後大野市は、大分県の南西部、大野川の上中流域に位置し、東西約 22km 南北約 31km 総面積 603.14 km²であり、県土の 9.5%を占めている。

北は大分市、東西を臼杵市・竹田市と接し、南端は九州の尾根といわれる祖母・傾国定公園で、ユネスコエコパークに登録されており、宮崎県境や佐伯市と接し、起伏に富み多くの清流を集めて別府湾に注ぐ大野川の豊かな水利を活かした県内屈指の農業地帯である。

気候は南海型気候に属し、平地気候と山地気候のほぼ中間にあり、一部の山岳地帯を除いて、平均気温は15～16℃と四季を通じて概ね温暖である。



最東端北緯	33°	5′	13″	東經	131°	40′	44″
最西端北緯	32°	49′	41″	東經	131°	20′	49″
最南端北緯	32°	48′	12″	東經	131°	21′	54″
最北端北緯	33°	7′	14″	東經	131°	33′	18″

(1) 人口・世帯数・面積

令和8年3月31日現在

人 口			世帯数	面 積
男	女	計	15,287 世帯	603.14 km ²
14,559 人	16,350 人	30,909 人		

3 予算・決算

(1)消防予算、決算

項目 年度	消 防 費			市 一 般 会 計		
	予 算 額(千円)		決 算 額(円)	予 算 額(千円)		決 算 額(円)
	当 初 予 算	最 終 予 算		当 初 予 算	最 終 予 算	
令和3年度	2,099,546	2,109,515	2,053,610,202	27,350,000	31,343,071	27,775,642,882
令和4年度	1,046,654	1,119,932	1,067,859,315	25,990,000	30,429,694	27,066,839,022
令和5年度	1,175,035	1,150,921	983,819,045	28,020,000	31,622,199	28,441,336,344
令和6年度	1,445,518	1,468,242	1,344,823,277	29,441,593	35,006,817	30,093,445,195
令和7年度	1,137,110	1,154,439	1,098,459,671	27,350,000	29,241,124	26,469,542,404

(2)消防費世帯、人口等対比

項目 年度	1 世 帯 当 り の 消 防 費		人 口 1 人 当 り の 消 防 費		職 員 一 人 当 り の 消 防 費		市 決 算 額 に 基 準 財 政 需 要 対 する 消 防 費 決 算 額 の 比 率 (%)	市 決 算 額 に 基 準 財 政 需 要 対 する 消 防 費 決 算 額 の 比 率 (%)
	世帯数 (戸)	金 額 (円)	人 口 (人)	金 額 (円)	職員数 (人)	金 額 (円)		
令和2年度	15,944	89,861	34,495	41,535	85	16,855,768	4.33	186.6
令和3年度	15,795	130,016	33,821	60,720	85	24,160,120	7.39	270.4
令和4年度	15,734	67,870	33,156	32,207	85	12,563,051	3.95	140.4
令和5年度	15,588	63,114	32,452	30,316	85	11,574,342	3.46	126.9
令和6年度	15,433	87,139	31,708	42,413	85	15,821,450	4.47	170.6

(3)消防費予算、決算 費目別

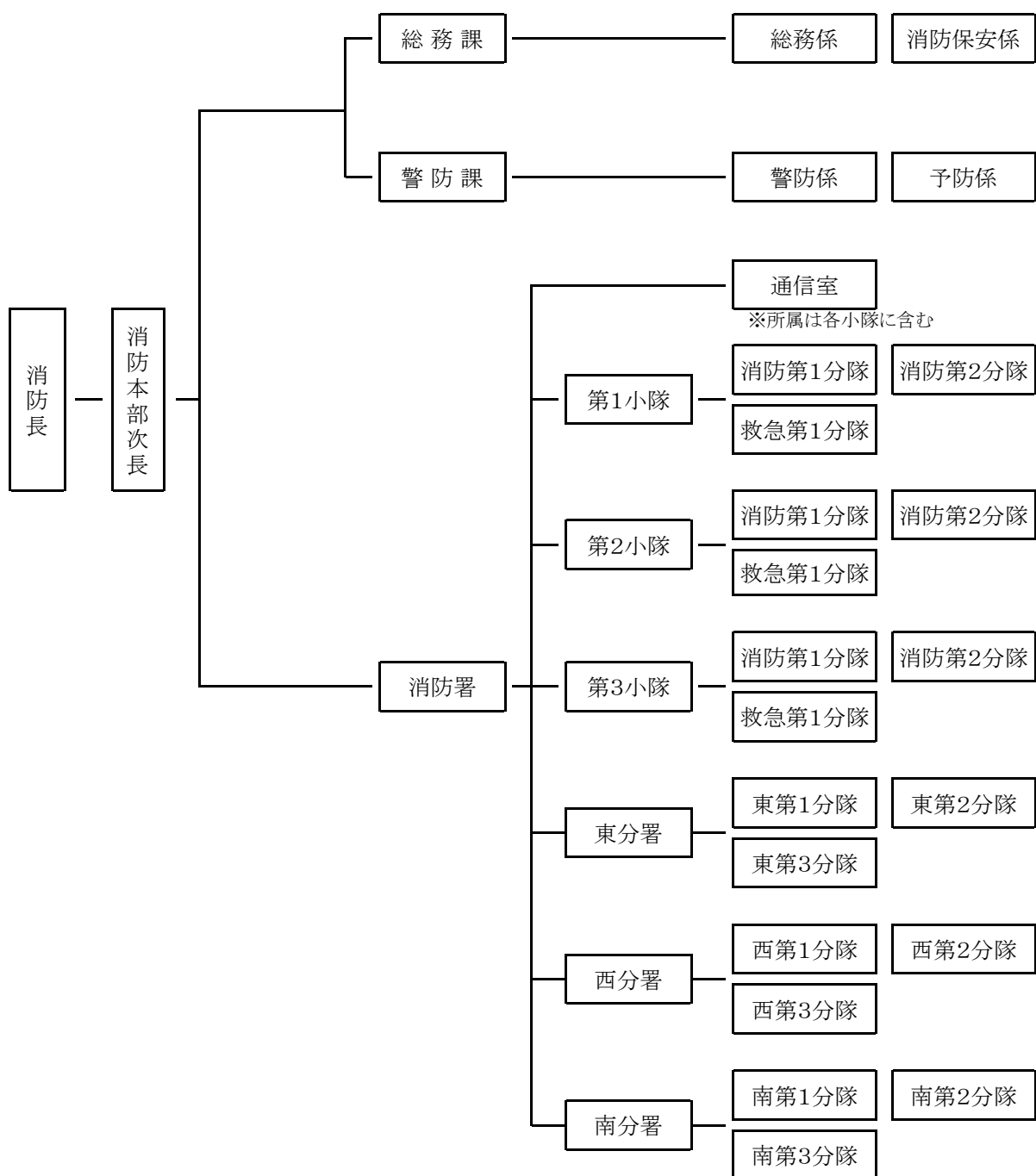
費目 年度	予 算 (当初) (千円)					
	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費	消防庁舎整備費	合 計
令和3年度	803,715	94,112	87,929	1,113,790		2,099,546
(%)	38.28	4.48	4.19	53.06		100
令和4年度	862,078	94,616	56,675	33,285		1,046,654
(%)	82.37	9.04	5.41	3.19		100
令和5年度	943,211	92,903	96,170	42,751		1,175,035
(%)	80.27	7.91	8.18	3.65		100
令和6年度	1,222,717	107,301	85,537	29,963		1,445,518
(%)	84.59	7.42	5.92	2.08		100
令和7年度	918,001	100,701	62,000	56,408		1,137,110
(%)	80.73	8.86	5.45	4.96		100

費目 年度	決 算 (円)					
	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費	消防庁舎整備費	合 計
令和2年度	831,955,966	71,925,573	67,971,282	460,887,444		1,432,740,265
(%)	58.07	5.02	4.74	32.17		100
令和3年度	789,831,798	74,669,054	82,425,512	1,106,683,838		2,053,610,202
(%)	38.46	3.64	4.01	53.89		100
令和4年度	907,540,163	74,787,439	59,711,837	25,819,876		1,067,859,315
(%)	84.99	7.00	5.59	2.42		100
令和5年度	829,242,351	77,483,996	55,900,203	21,192,495		983,819,045
(%)	84.29	7.88	5.68	2.15		100
令和6年度	1,142,874,044	97,144,419	78,999,027	25,805,787		1,344,823,277
(%)	84.98	7.22	5.87	1.92		100

第2章 組織と構成

1 消防本部・消防署

(1) 組織図



(2) 消防本部・消防署の事務分掌

総務課

- (ア) 消防予算の執行及び会計事務に関すること。
- (イ) 消防事務事業の企画及び総合調整に関すること。
- (ウ) 庁舎及び物品に関すること。
- (エ) 消防職員の人事及び給与等に関すること。
- (オ) 消防職員の教養、服務及び規律に関すること。
- (カ) 消防職員の公務災害及び保健衛生に関すること。
- (キ) 公印の管守及び文書の保管に関すること。
- (ク) 統計(消防年報を含む。)及び一般広報に関すること。
- (ケ) 消防施設の拡充及び整備に関すること。
- (コ) 消防機械器具の維持管理に関すること。
- (サ) 消防用通信施設に関すること。
- (シ) 消防団員の任免及び懲戒等に関すること。
- (ス) 消防団員の教養に関すること。
- (セ) 消防団員の福利厚生に関すること。
- (ソ) 消防団員の公務災害補償に関すること。
- (タ) 消防団員の退職報奨金に関すること。
- (チ) その他消防団に関すること。
- (ツ) 他の課の主管に属しない事務に関すること

警防課

- (ア) 消防計画に関すること。
- (イ) 火災原因及び調査に関すること。
- (ウ) 水火災、その他の災害の警戒防ぎょに関すること。
- (エ) 救急救助に関すること。
- (オ) 消防団との連携調整に関すること。
- (カ) 消防活動の統計に関すること。
- (キ) その他消防業務に関すること。
- (ク) 防火対象物等の立入検査及び予防指導に関すること。
- (ケ) 建築同意に関すること。
- (コ) 防火管理者及び自衛消防組織に関すること。
- (サ) 気象警報及び防火思想の普及に関すること。
- (シ) 消防用設備の設置指導及び防火相談に関すること。
- (ス) 防火基準適合表示に関すること。
- (セ) 危険物の規制に関すること。
- (ソ) 婦人防火クラブ、幼年防火クラブ、少年消防クラブの育成指導に関すること。
- (タ) 火災予防の統計に関すること。
- (チ) その他予防業務に関すること。

消防署

- (ア) 物品の収納及び保管に関する事。
- (イ) 署の予算の策定及び予算経理に関する事。
- (ウ) 署員の福利厚生に関する事。
- (エ) 予防査察に関する事。
- (オ) 豊後大野市火災予防条例に基づく各種届出の処理に関する事。
- (カ) 火災予防防火思想の普及広報に関する事。
- (キ) 火災の原因及び損害調査に関する事。
- (ク) 水火災等の警戒、防御及び鎮圧に関する事。
- (ケ) 消防訓練及び演習に関する事。
- (コ) 地域消防団及び自衛消防に関する事。
- (サ) 庁舎及び施設の保守管理に関する事。
- (シ) 消防車両等機械器具の保守管理に関する事。
- (ス) 地理水利調査計画に関する事。
- (セ) 水利台帳に関する事。
- (ソ) 水利整備促進に関する事。
- (タ) 気象の記録及び統計に関する事。
- (チ) 異常気象に関する事。
- (ツ) 救急医薬品の保守管理に関する事。
- (テ) 医療機関との連絡調整に関する事。
- (ト) 予防調査に関する事。
- (ナ) その他救急業務に関する事。
- (ニ) 消防通信に関する事。
- (ヌ) その他通信業務に関する事。

(3) 名称・位置・管轄区域

名 称 \ 区 分	位 置	管 轄 区 域
豊 後 大 野 市 消 防 本 部 ・ 署	豊後大野市三重町内田2827番地1	豊後大野市全域
南 分 署	豊後大野市緒方町馬場3番地1	緒方町全域 清川町・朝地町・大野町の一部
西 分 署	豊後大野市大野町大原1293番地	大野町全域 朝地町・緒方町の一部
東 分 署	豊後大野市犬飼町下津尾4042番地1	犬飼町全域 三重町・千歳町・大野町の一部

2 消防職員の現況

(1) 署所別職員数

(令和8年4月1日現在)

階級 \ 署所	計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他	備 考
合 計	84	1	9	29	25	8	12		
消防本部	13	1	2	7	3				
消 防 署	32		4	9	11	3	5		
南 分 署	12		1	4	4	1	2		
西 分 署	12		1	5	2	3	1		
東 分 署	12		1	3	5	1	2		
派 遣	1			1					おおいた消防指令 センター派遣
入 校	2						2		初任教育2名

(2) 階級別年齢構成

(令和8年4月1日現在)

階級 年齢	計	消 防 吏 員							その他 の職員
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	小 計	
合 計	84	1	9	29	25	8	12	84	
18 歳									
19 歳	1						1	1	
20 歳									
21 歳	2						2	2	
22 歳	5						5	5	
23 歳	1						1	1	
24 歳	2						2	2	
25 歳	2					1	1	2	
26 歳	1					1		1	
27 歳	2					2		2	
28 歳	2					2		2	
29 歳									
30 歳	1					1		1	
31 歳	2				1	1		2	
32 歳	1				1			1	
33 歳	3				3			3	
34 歳	3				3			3	
35 歳									
36 歳	1				1			1	
37 歳	3				3			3	
38 歳	6				6			6	
39 歳	6			1	5			6	
40 歳	1			1				1	
41 歳	4			3	1			4	
42 歳									
43 歳	3			3				3	
44 歳	2			2				2	
45 歳	7			7				7	
46 歳	3			3				3	
47 歳	2			2				2	
48 歳	2			2				2	
49 歳	2			2				2	
50 歳	2			2				2	
51 歳									
52 歳									
53 歳	1			1				1	
54 歳	4		4					4	
55 歳	2		2					2	
56 歳	1		1					1	
57 歳	1		1					1	
58 歳	2	1	1					2	
59 歳									
60 歳	1				1			1	
平均年齢	39.2	58.0	55.2	45.3	37.4	27.8	22.3	39.2	

(3)職員教養状況

(令和8年 3月31日現在)

機関名	年度		R3	R4	R5	R6	R7
	種別						
大分県消防学校	初任科		2	4	4		3
	救急科		2	2	2	1	2
	救助科			3		2	
	予防査察科			2		2	
	警防科		2		2		2
	火災調査科		1		1		
	特殊災害科		2		1		2
	初級幹部科				2		
	中級幹部科						
	上級幹部科						
	特殊技能講習						
	操法指導者研修		3	3		3	
	訓練礼式指導者研修				2		1
	口頭指導研修			3			
	ビデオ喉頭鏡研修			2	1		
	応急手当指導員講習		2	2	2	1	2
	実火災体験研修		2	2	3	3	3
	救急救命士再教育		4	3	4	4	4
九州救急救命 研修所	救急救命士		1	1		1	1
	指導救命士養成研修			1			
その他の委託機関	気管挿管病院実習		1	1	1	1	
	ビデオ喉頭鏡 病院実習		1	1	1	1	
	潜水士						
	小型クレーン・玉掛講習		2	2	2	2	2
	巻上機運転講習		3	3	3	3	3
	九州地区警防実務研修					1	
	九州地区予防実務研修			1	1		
	消防大学校				1	1	
	フルハーネス講習				61		
	テールゲート講習				69		
計			28	36	163	26	25

第 3 章 施 設

1 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	構 造	建物面積
			敷地面積
豊後大野市 消防本部・消防署	豊後大野市三重町内田2827番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2 階建	1,791.52 m ²
			4,854.00 m ²
南 分 署	豊後大野市緒方町馬場3番地1	鉄骨造平屋	399.95 m ²
			2,400.00 m ²
西 分 署	豊後大野市大野町大原1293番地	木造平屋	271.62 m ²
			1,420.34 m ²
東 分 署	豊後大野市犬飼町下津尾4042番地1	木造 2 階建	306.00 m ²
			809.39 m ²
訓 練 塔	豊後大野市三重町内田2827番地1	鉄骨造 4 階建及び 2 階建	主塔高さ 18m 副塔高さ8.2m
無 線 局 舎	豊後大野市三重町松尾1199番地1 (佩楯山)	鉄骨造平屋	5.66 m ²
防 災 倉 庫	豊後大野市三重町内田2827番地1	鉄骨造平屋	24.00 m ²

2 車両

(1) 消防車両状況

令和 8 年 4 月 1 日現在

詳細 車両名	登 録 年 登録番号	車種別 ポンプ車分類等	メーカー名 ポンプメーカー名	型 式 車両総重量	呼出名称	経過年数 配置場所
1 号 車	平成26年3月10日 大分830や119	普通 水Ⅱ型(2t積水)	日野 日本機械工業	SDG-GX7JGAA改 10330kg	しょうぼう みえ 1	12年0月 本署
2 号 車	令和3年3月22日 大分800す5396	普通4WD CD-1型	日野 日本機械工業	2KG-XZU685M 6315kg	しょうぼう みえ 2	5年0月 本署
救 助 工 作 車	平成21年3月13日 大分830は119	普通4WD クレーン、ウインチ他	日野 救助工作車Ⅱ型	BDG-GX7JGWA改 10865kg	しょうぼう みえ 3	17年0月 本署
救 急 三 重	令和2年3月18日 大分800す4911	普通4WD 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	CBF-TRH226S 3275kg	きゅうきゅう みえ 1	6年0月 本署
指 揮 車	平成23年3月25日 大分800さ9965	普通4WD 指揮車	日産	DBA-NT31 1785kg	しょうぼう みえ 6	15年0月 本署
火災原因調査車	平成30年2月15日 大分800す3871	普通4WD 原因調査車	トヨタ	CBF-TRH226K 2790kg	しょうぼう みえ 5	8年1月 本署
査 察 車	平成22年3月16日 大分880あ502	軽四4WD 予防査察車	ダイハツ	EBD-S331V 1420kg	しょうぼう みえ 4	16年0月 本署
多目的消防用車両	平成29年9月29日 大分480そ6110	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1410kg		8年6月 本署
支 援 三 重	平成26年1月31日 大分880あ911	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1440kg	しょうぼう みえ 7	12年2月 本署
広 報 車	平成22年12月17日 大分480く5210	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1400kg		15年3月 本署
資 機 材 搬 送 車 (最大積載量3t)	平成28年10月28日 大分830せ2016	普通4WD 資機材搬送	日野	TKG-XZU685M 6355kg	しょうぼう みえ 8	9年5月 本署
作 業 車 (最大積載量0.75t)	令和4年1月20日 大分800す5785	普通4WD 作業車	トヨタ	5BF-S413U 2140kg	しょうぼう みえ 9	4年2月 本署
人 員 輸 送 車	平成20年9月30日 大分800さ8578	普通 人員輸送	ニッサン	DBA-NC25 2180kg		17年6月 本署
消 防 緒 方	平成22年3月17日 大分830ふ119	普通4WD 水Ⅰ型(1.5t積水)	日野 日本機械工業	BDG-GX7JGWA改 9700kg	しょうぼう おがた 1	16年0月 南分署
救 急 緒 方	平成28年11月17日 大分800す3201	普通 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	CBF-TRH226S 3265kg	きゅうきゅう おがた 1	9年4月 南分署
支 援 緒 方	平成26年1月31日 大分880あ912	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	EBD-S331V 1440kg	しょうぼう おがた 2	12年2月 南分署
消 防 大 野	令和6年8月26日 大分800す7053	普通4WD CD-1型(1.2t積水)	日野 日本機械工業	2DG-XZU685M 6895kg	しょうぼう おおの 1	1年7月 西分署
救 急 大 野	令和3年1月20日 大分800す5296	普通4WD 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	3BF-TRH226S 3245kg	きゅうきゅう おおの 1	5年2月 西分署
支 援 大 野	平成19年8月29日 大分880あ260	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	LE-S330V 1420kg	しょうぼう おおの 2	18年7月 西分署
消 防 犬 飼	令和7年12月15日 大分800は1707	普通4WD 水Ⅱ型(2t積水)	日野 日本機械工業	2KG-GX2ABA 10940kg	しょうぼう いぬかい 1	0年3月 東分署
救 急 犬 飼	令和8年3月19日 大分800す7803	普通4WD 除細動器他	トヨタ 高規格救急自動車	3BF-TRH226S 3235kg	きゅうきゅう いぬかい 1	0年0月 東分署
支 援 犬 飼	平成19年8月29日 大分880あ259	軽四4WD 人員輸送兼用	ダイハツ	LE-S330V 1420kg	しょうぼう いぬかい 2	18年7月 東分署

3 消防無線一覧

無線名 詳細	基地局	移動局		
		卓上型固定	車載	携帯（可搬式含む）
デジタル無線	1	4	19	30

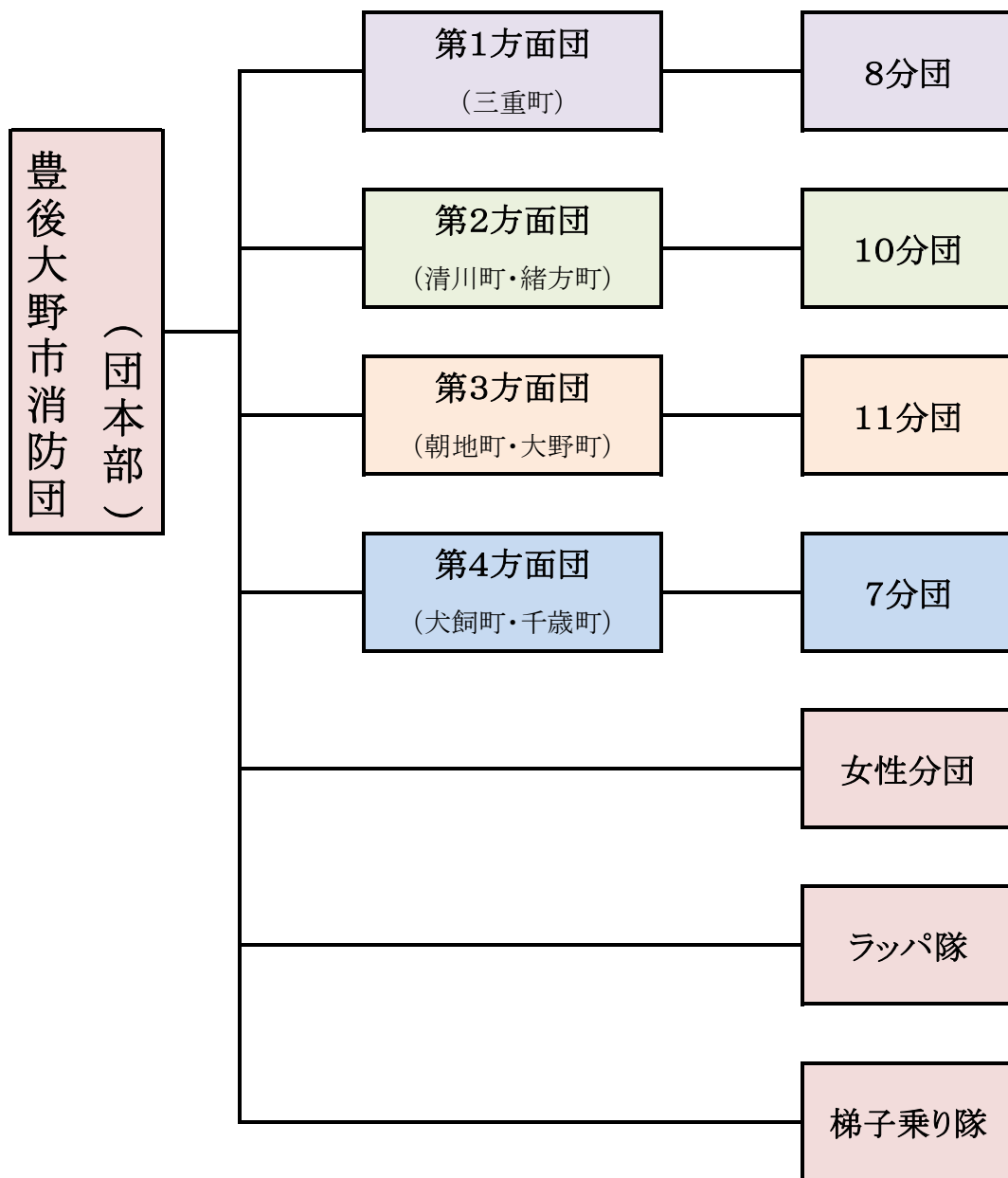
4 消防水利の現況

町 別 区 分		計	三重町	清川町	緒方町	朝地町	大野町	千歳町	犬飼町
現有数計		1,814	559	94	221	182	271	205	282
消火栓	公 設	757	311	22	64	0	66	127	167
防 火 水 槽	4 0 m ³ 以上	3	0	0	1	0	2	0	0
	4 0 m ³	768	171	62	130	125	143	37	100
	4 0 m ³ 未満	93	28	2	4	18	14	27	0
その他	河川 プール等	193	49	8	22	39	46	14	15

第4章 消防団

1 豊後大野市消防団組織図

令和8年4月1日現在



方面団数	4方面団
分団数	36分団＋女性分団

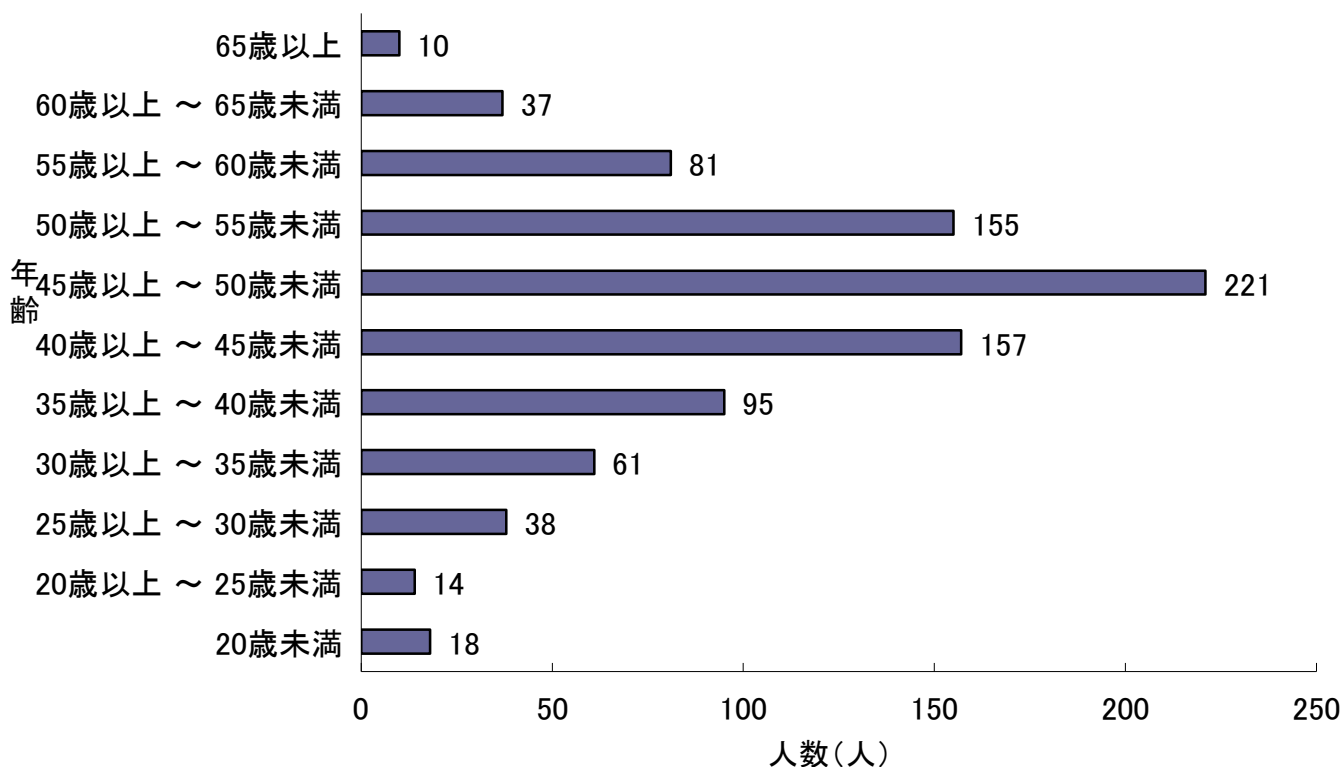
2 消防団の現況

(1)年 齢 別 職 名 別 消 防 団 員 数

集計条件:集計日=R08/04/01

		団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
年 齢	20歳未満						18	18
	20歳以上 ～ 25歳未満					1	13	14
	25歳以上 ～ 30歳未満				2		36	38
	30歳以上 ～ 35歳未満				2	15	44	61
	35歳以上 ～ 40歳未満			3	2	27	63	95
	40歳以上 ～ 45歳未満			9	6	49	93	157
	45歳以上 ～ 50歳未満			24	17	48	132	221
	50歳以上 ～ 55歳未満	1	2	25	7	25	95	155
	55歳以上 ～ 60歳未満		3	5		8	65	81
	60歳以上 ～ 65歳未満	1		1	1	8	26	37
	65歳以上					1	9	10
合 計		2	5	67	37	182	594	887
平 均 年 齢		57.5	54.8	49.8	45.3	44.8	44.4	44.9

年 齢 別 消 防 団 員 数 グ ラ フ

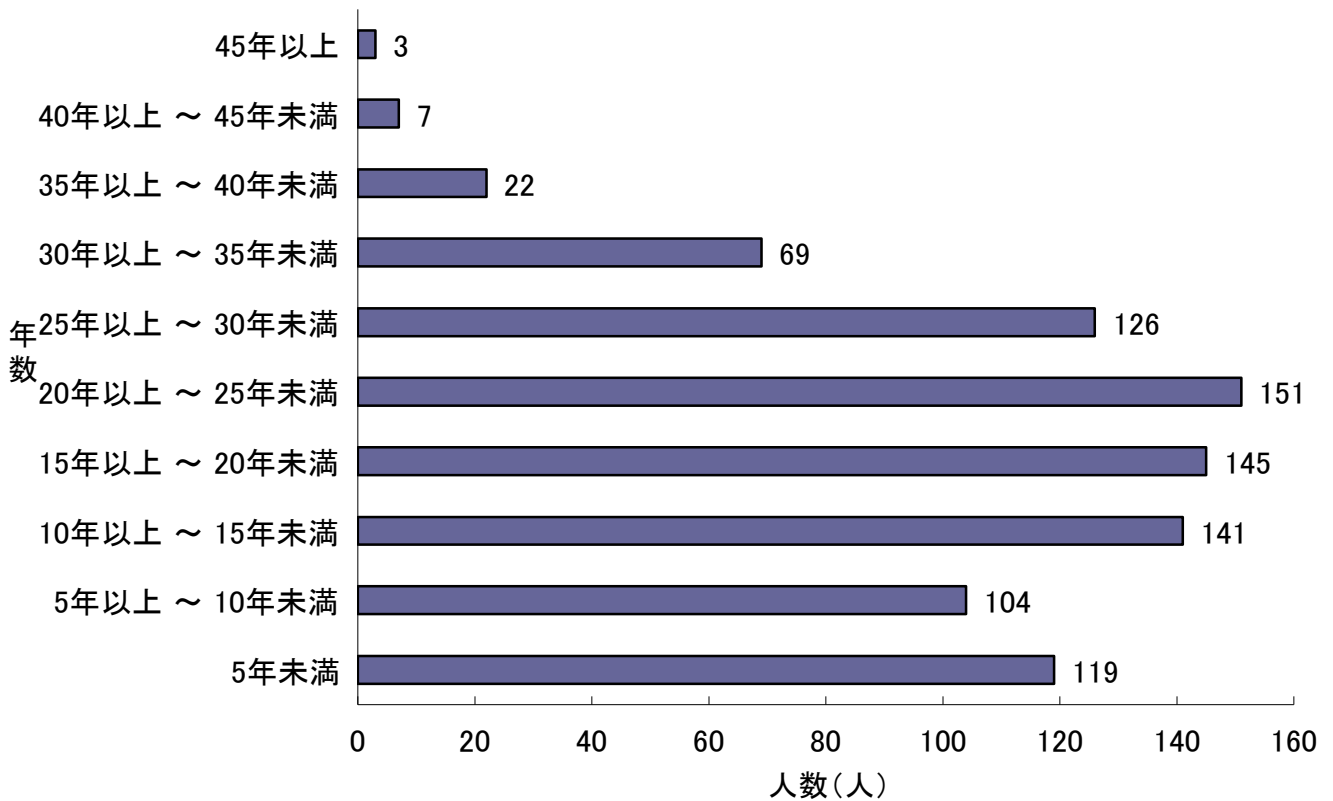


(2)在 職 年 数 別 職 名 別 消 防 団 員 数

集計条件:集計日=R08/04/01

		団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合 計
在 職	5年未満					10	109	119
	5年以上 ～ 10年未満			1	3	29	71	104
	10年以上 ～ 15年未満			10	9	38	84	141
	15年以上 ～ 20年未満			11	4	42	88	145
	20年以上 ～ 25年未満		1	12	15	36	87	151
	25年以上 ～ 30年未満		1	19	6	16	84	126
	30年以上 ～ 35年未満	1	3	10		7	48	69
	35年以上 ～ 40年未満	1		4		2	15	22
	40年以上 ～ 45年未満					1	6	7
	45年以上					1	2	3
合 計		2	5	67	37	182	594	887
平 均 在 職 年 数		35.0	28.6	23.1	18.6	16.5	16.4	17.4

在職年数別消防団員数グラフ



(3) 消防団員及び消防団車両の配置状況

令和8年4月1日現在

		団員(階級)							団車両			
		団員数	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	配備数	ポンプ車	積載車	その他
	団本部	5	2	1	2				2			2
	女性分団	24			1	1	1	21				
第1方面団	方面団本部	9		1	8							
	第1分団	25			1	1	7	16	2	1	1	
	第2分団	34			1	1	6	26	2		2	
	第3分団	46			1	1	6	38	3		3	
	第4分団	36			1	1	6	28	2	1	1	
	第5分団	19			1	1	5	12	2		2	
	第6分団	27			1	1	6	19	2		2	
	第7分団	15			1	1	6	7	2		2	
	第8分団	29			1	1	6	21	2		2	
第2方面団	方面団本部	9		1	8							
	第1分団	19			1	1	4	13	1		1	
	第2分団	20			1	1	3	15	1	1		
	第3分団	18			1	1	3	13	1		1	
	第4分団	14			1	1	2	10	1		1	
	第5分団	13			1	1	3	8	2		2	
	第6分団	25			1	1	3	20	1		1	
	第7分団	28			1	1	2	24	2		2	
	第8分団	22			1	1	5	15	1	1		
	第9分団	32			1	1	9	21	2	1	1	
	第10分団	31			1	1	9	20	2		2	
第3方面団	方面団本部	8		1	7							
	第1分団	17			1	1	5	10	1	1		
	第2分団	17			1	1	4	11	1		1	
	第3分団	15			1	1	5	8	1		1	
	第4分団	14			1	1	4	8	1		1	
	第5分団	20			1	1	4	14	1		1	
	第6分団	14			1	1	4	8	1		1	
	第7分団	27			1	1	5	20	1	1		
	第8分団	19			1	1	5	12	1		1	
	第9分団	19			1	1	6	11	1		1	
	第10分団	19			1	1	6	11	1		1	
	第11分団	24			1	1	6	16	2		2	
第4方面団	方面団本部	6		1	5							
	第1分団	20			1	1	5	13	2		2	
	第2分団	23			1	1	6	15	2		2	
	第3分団	24			1	1	6	16	2	1	1	
	第4分団	16			1	1	4	10	1		1	
	第5分団	16			1	1	4	10	1		1	
	第6分団	38			1	1	7	29	2		2	
	第7分団	31			1	1	4	25	2	1	1	
総計		887	2	5	67	37	182	594	57	9	46	2

第 5 章 予 防

予防業務については、市内ケーブルテレビ及び音声告知放送を活用して火災予防の啓発や住宅用火災警報器の設置及び維持管理の必要性を呼びかけた。また、土木事務所・保健所等と連携を図りながら査察を実施し、違反是正に努めた。

防火対象物数（150㎡以上）：1,247棟・査察実施数：312棟

危険物業務については、各種申請等の処理を行うとともに、管内危険物施設への査察を実施し、施設の維持管理及び危険物貯蔵取扱いの保安体制について指導を行った。また、給油取扱所を中心にガソリン等の危険物運搬容器の適正利用について指導したほか、警察署・保健所と合同で危険物運搬車両等への査察を実施した。

火薬類の事務については、譲受・消費の許可審査のほか、煙火消費現場への立入検査を行い、事故発生の防止に努めた。

令和7年末の危険物施設数：154 査察施設数：83

1 危険物及び火薬類等の事務処理状況

（1）危険物施設事務処理状況

期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

施設別 区分			製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			合 計	
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売		一 般
施 設 数 （ 注 ）			1	6	38	3	12		29	4	40		21	154
申請 処 理 件 数	許 可	設 置						2	2					4
		変 更						7		8			15	
	完成検査前検査													
	完成検査	設 置			2	1		1	2			2	8	
		変 更						4		7			11	
	仮 使 用 承 認									7			7	
	仮貯蔵・仮取扱									1			1	
	予 防 規 程 認 可									12			12	
届出 受 理 件 数	譲 渡 引 渡 届							5					5	
	種類数量変更届							1					1	
	廃 止 届				4				2	1		1	8	
	使 用 休 止 届						1			2			3	
	使 用 再 開 届													
	保安監督者選解任届				5					6		2	13	
	名 称 等 変 更 届			1	1	1	3		1		6		1	14
	危険物簡易変更届									6				6
立 入 検 査			1	1	31	1	5		11	2	21		10	83

(2) 火薬類事務処理状況

許可別 区分		譲渡許可	譲受許可	譲受消費許可	煙火消費許可	廃棄許可	合計
申請処理件数	許可		2	4	4	1	11
	許可証再交付						
	許可証書換						
届出件数	申請変更届						
	保安責任者 選任・解任届			2			2
	継続届			4			4
立入検査					8		8

(3) 少量危険物、圧縮アセチレンガス等届出状況

区分 件数	少量危険物		指定可燃物	圧縮アセチレンガス	無水硫酸	液化石油ガス	生石灰	毒物及び劇物
	貯蔵取扱届	廃止届						
届出件数	7					11		

2 防火対象物

(1) 令別表第1の防火対象物数 (延面積150㎡以上)

(令和7年度)

防火対象物		町 別	計	三重町	緒方町	清川町	大野町	千歳町	犬飼町	朝地町
豊後大野市 合計			1,247	707	105	63	149	61	109	53
1	イ	劇場等	6	3	1		1	1		
	ロ	集 会 場	59	23	10	3	12	4	5	2
2	イ	ナイトクラブ等								
	ロ	遊 技 場 等	3	3						
	ハ	性風俗関連特殊営業等								
	ニ	カラオケボックス等	1	1						
3	イ	料 理 店 等	2	1					1	
	ロ	飲 食 店 等	19	14	1		1			3
4		百 貨 店 等	63	45	7	1	5		3	2
5	イ	旅 館 等	12	8	1	1	2			
	ロ	寄 宿 舎 等	171	144	14		5		6	2
6	イ	病 院 等	27	21	2		1		3	
	ロ	老 人 福 祉 施 設 等	56	24	4	3	10	7	5	3
	ハ	老人デイサービス等	56	25	2	3	4	3	17	2
	ニ	幼 稚 園 等	3	2					1	
7		学 校 等	86	48	5	5	8	5	5	10
8		図 書 館 等	6	3				1		2
9	イ	蒸 気 浴 場 等	1	1						
	ロ	イ以外の公衆浴場等								
10		車 両 の 停 車 場	2	2						
11		神 社 等	27	15	3	3	3	2	1	
12	イ	工 場 等	160	75	9	8	32	8	19	9
	ロ	映 画 ス タ ジ オ								
13	イ	駐 車 場 等	16	11				3	2	
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫	2				2			
14		倉 庫 等	89	39	7	11	15	7	7	3
15		そ の 他 の 事 業 場	249	124	23	22	36	15	18	11
16	イ	複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	77	43	10	3	5	3	9	4
	ロ	イ 以 外 の 複合用途防火対象物	54	32	6		7	2	7	

(2) 中高層建築物(3階以上)の現況

(令和7年度)

町 別 防火対象物			合 計		三重町		緒方町		清川町		大野町		千歳町		犬飼町		朝地町	
			3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上	3階	4階以上
豊後大野市 合計			90	47	58	42	5	2			7	1	1		16	2	3	
1	イ	劇場等		1		1												
	ロ	集会場																
2	イ	ナイトクラブ等																
	ロ	遊技場等																
	ハ	性風俗関連特殊営業等																
	ニ	カラオケボックス等																
3	イ	料理店等	1		1													
	ロ	飲食店等																
4		百貨店等	2		1										1			
5	イ	旅館等		2		2												
	ロ	寄宿舎等	35	22	26	19	3	1			1	1			5	1		
6	イ	病院等	5	2	3	2	1								1			
	ロ	老人福祉施設等	2	2	1	2					1							
	ハ	老人デイサービス等	2												2			
	ニ	幼稚園等																
7		学校等	15	3	10	2	1	1			2				2			
8		図書館等																
9	イ	蒸気浴場等																
	ロ	イ以外の公衆浴場等																
10		車両の停車場	1		1													
11		神社等																
12	イ	工場等	2	1									1			1	1	
	ロ	映画スタジオ																
13	イ	駐車場等																
	ロ	飛行機の格納庫																
14		倉庫等	1								1							
15		その他の事業場	10	4	6	4					2				2			
16	イ	複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	11	2	6	2									3		2	
	ロ	イ以外の 複合用途防火対象物	3	8	3	8												

(3) 項別防火対象物の消防用設備等設置状況(No. 1)

(令和7年度)

消防用設備 防火対象物(項別)			防火 管 理 者	消 防 計 画	消 火 設 備			
					屋 内 消 火 栓	屋 外 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	動 力 消 防 ポ ン プ
豊後大野市 合計			195	193	71	19	70	5
1	イ	劇場等	1	1	1		1	
	ロ	集会場	16	15	3		1	
2	イ	ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場等	3	3	2			
	ハ	性風俗関連特殊営業等						
3	イ	カラオケボックス等	1	1				
	ロ	料理店等	1					
4	イ	飲食店等	2	2				
	ロ	百貨店等	33	33	4		3	
5	イ	旅館等	6	6	2			
	ロ	寄宿舎等	7	7	3			
6	イ	病院等	8	8	2		6	
	ロ	老人福祉施設等	34	34			56	
	ハ	老人デイサービス等	20	20	3		2	
	ニ	幼稚園等						
7		学校等	20	20	27	10		
8		図書館等	1	1	1			
9	イ	蒸気浴場等						
	ロ	イ以外の公衆浴場等						
10		車両の停車場						
11		神社等	3	3				
12	イ	工場等	8	8	11	8		4
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	駐車場等						
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫等			2	1		1
15		その他の事業場	14	14	5			
16	イ	複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	16	16	4		1	
	ロ	イ以外の 複合用途防火対象物	1	1	1			

(3) 項別防火対象物の消防用設備等設置状況(No. 2)

(令和7年度)

消防用設備 防火対象物(項別)			警 報 設 備					避 難 設 備	
			自 動 火 災 報 知	ガ ス 漏 警 報	漏 電 火 災 警 報	非 常 警 報 設 備	火 災 通 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯
豊後大野市 合計			476		1	161	95	66	412
1	イ	劇 場 等	2			4			3
	ロ	集 会 場	21			21	1		28
2	イ	ナ イ ト ク ラ ブ 等							
	ロ	遊 技 場 等	3			3			3
	ハ	性風俗関連特殊営業等							
3	イ	料 理 店 等	1						2
	ロ	飲 食 店 等	3			3		1	16
4		百 貨 店 等	41			22	1		59
5	イ	旅 館 等	14		1	3	5	3	11
	ロ	寄 宿 舎 等	37			28		38	3
6	イ	病 院 等	19			5	13	3	27
	ロ	老 人 福 祉 施 設 等	57			6	56	5	57
	ハ	老人デイサービス等	40			10	16	1	56
	ニ	幼 稚 園 等	1						1
7		学 校 等	67			12		6	17
8		図 書 館 等	3			1			1
9	イ	蒸 気 浴 場 等							
	ロ	イ以外の公衆浴場等							
10		車 両 の 停 車 場							
11		神 社 等	1			6			3
12	イ	工 場 等	62			3			17
	ロ	映 画 ス タ ジ オ							
13	イ	駐 車 場 等	1						
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫	2						
14		倉 庫 等	20					1	6
15		そ の 他 の 事 業 場	41			21		1	47
16	イ	複合用途防火対象物 (特定用途防火対象物)	35			11	3	4	44
	ロ	イ 以 外 の 複合用途防火対象物	4			2		2	10

3 各種届出状況(消防法令・火災予防条例)

期間:令和7年1月1日～令和7年12月31日

(1) 豊後大野市火災予防条例による届出状況

種 別	届 出 数
計	507
ボ イ ラ ー ・ か ま ど 等 設 置 届	8
変 電 設 備 ・ ネ オ ン 管 等 の 設 備	16
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	24
火 災 と ま ぎ わ ら し い 煙 等 の 届 出	324
煙 火 の 打 ち 上 げ の 届 出	30
催 物 開 催 届 出	0
水 道 断 減 水 の 届 出	13
道 路 通 行 止 等 の 届 出	53
露 店 等 の 開 設 届 出	39

(2) 消防用設備状況

消防用設備の種類	着 工 届	設 置 届	検 査 済 証
計	22	72	72
消 火 設 備	1	21	21
警 報 設 備	14	39	39
避 難 設 備	0	8	8
火 災 通 報 設 備	7	4	4

(3) 防火管理者等の届出状況

種 別	届 出 数
計	710
防 火 管 理 者 選 解 任 届 出	67
消 防 計 画 作 成 届 出	80
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書 届 出	563

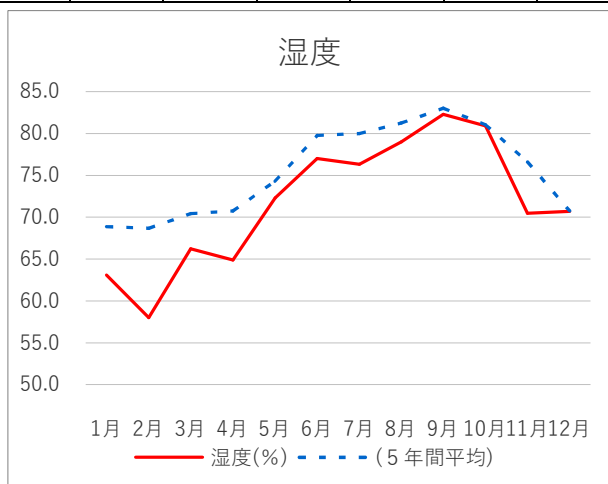
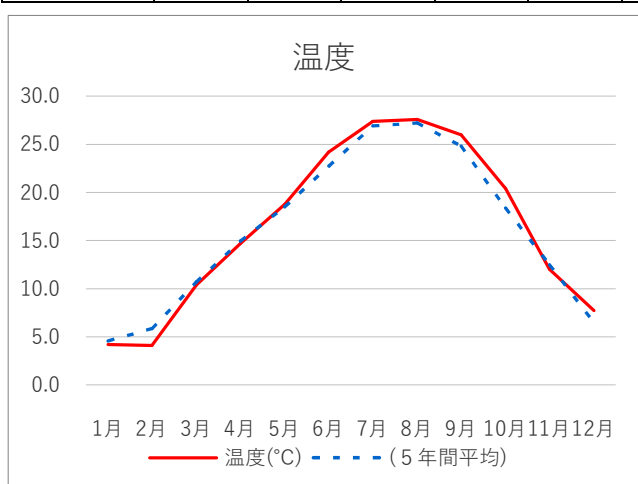
(4) 指導書及び意見書の状況

種 別	件 数
計	132
対 象 物 に 対 す る 指 導 書 (建 築 同 意 時)	10
立 入 結 果 通 知 書	122

4 気象の状況

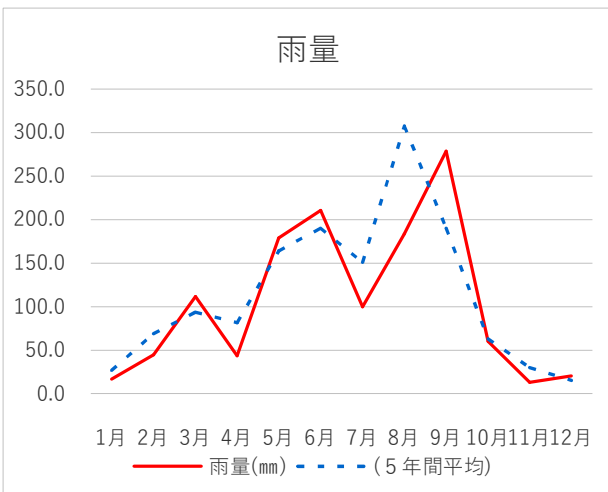
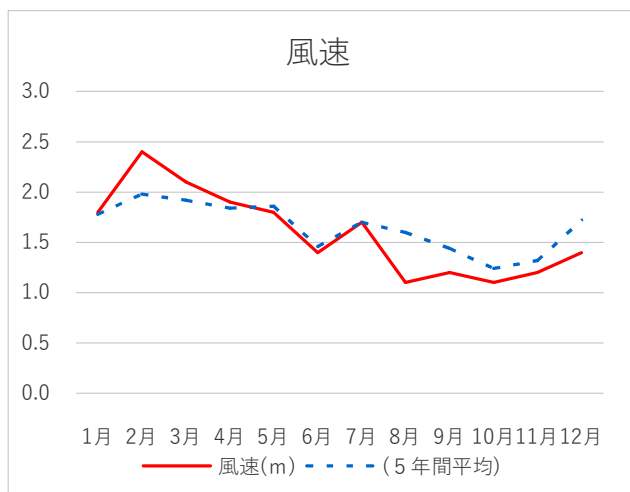
(1) 月別温度・湿度状況

月 別 項 目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C) (5年間平均)	4.2 (4.6)	4.1 (5.9)	10.4 (10.7)	14.7 (14.9)	18.8 (18.5)	24.2 (22.7)	27.4 (26.9)	27.6 (27.2)	26.0 (24.8)	20.4 (18.4)	12.0 (12.5)	7.7 (6.5)
湿度(%) (5年間平均)	63.1 (68.9)	58.0 (68.7)	66.2 (70.4)	64.9 (70.8)	72.3 (74.3)	77.0 (79.8)	76.3 (80.)	79.0 (81.2)	82.3 (83.)	80.9 (81.)	70.5 (76.6)	70.7 (70.8)



(2) 月別風速・雨量状況

月 別 項 目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速(m) (5年間平均)	1.8 (1.8)	2.4 (2.)	2.1 (1.9)	1.9 (1.8)	1.8 (1.9)	1.4 (1.5)	1.7 (1.7)	1.1 (1.6)	1.2 (1.4)	1.1 (1.2)	1.2 (1.3)	1.4 (1.7)
雨量(mm) (5年間平均)	16.5 (26.9)	44.5 (68.9)	111.5 (93.6)	43.5 (81.4)	179.0 (164.)	210.5 (190.2)	100.0 (150.9)	183.5 (307.3)	278.5 (190.1)	60.0 (62.7)	13.0 (29.9)	20.0 (14.9)



第 6 章 消 防

1 火 災 の 概 況

令和7年中の火災総出動件数(非火災を含む)は56件で火災件数は26件となった。火災種別で見ると建物火災4件、林野火災10件、車両・その他火災12件で、建物焼損床面積1,456㎡、林野焼損面積96a、損害額は15,548千円となっている。前年と比較すると、火災件数は17件減少しており、林野火災が3件の増加、建物火災が7件、車両・その他火災が13件減少となった。また、建物焼損面積が36㎡増加し、林野焼損面積は14aの減少、損害額は20,570千円の減少となっている。

火災による死者及び負傷者については、死者3名となり前年と比較すると死者が1名増加、負傷者が5名の減少となった。

(1) 前年との対比

種 別	火 災 種 別	令 和 6 年	令 和 7 年	対 比
火災件数	建 物 火 災	11	4	△ 7
	林 野 火 災	7	10	3
	車 両 ・ そ の 他 火 災	25	12	△ 13
	合 計	43	26	△ 17
損 害 額 (千 円)		36,118	15,548	△ 20,570
焼損棟数	全 焼	8	4	△ 4
	半 焼			
	部 分 焼	5		△ 5
	合 計	13	4	△ 9
面 積	建 物 (㎡)	1,420	1,456	36
	林 野 (a)	110	96	△ 14
人的被害	死 者	2	3	1
	負 傷 者	5		△ 5
り災状況	り 災 世 帯 数	8	2	△ 6
	り 災 人 員	18	6	△ 12
出動状況	消 防 署 、 出 動 延 人 員	518	347	△ 171
	消 防 署 、 ポ ン プ 出 動 台 数	115	92	△ 23
1 件 当 り 出 動 人 員		12	13	1
1 件 当 り ポ ン プ 出 動 台 数		2.7	3.5	0.9
1 件 当 り 損 害 額 (千 円)		840	598	△ 242

(2) 月別火災状況

種別 月別	出火件数					焼損棟数								り災世帯		死傷者		焼損面積		
	計	建物	林野	車両	その他	計	火 元				類 焼				世帯	人員	死者	負傷者	建物（㎡）	林野（a）
							全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
1	4	1	1		2	1				1					1	4				1.0
2	6		5		1															36.0
3	2		1		1															30.0
4	1				1															
5	2	1	1			1				1										21.0
6	5		1	2	2												1			
7																				
8																				
9	1	1				1	1												1,140.0	
10	2				2															
11	1	1				3	1				2				1	2	2		316.0	
12	2		1	1																8.0
合 計	26	4	10	3	9	6	2			2	2				2	6	3		1,456	96

(3) 曜日別火災状況

種別 曜日別	出火件数					焼損棟数								り災世帯		死傷者		焼損面積		
	計	建物	林野	車両	その他	計	火 元				類 焼				世帯	人員	死者	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)
							全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
日曜日	2		1	1												1			4.0	
月曜日	2	1			1	1	1											1,140.0		
火曜日	6		3		3														47.0	
水曜日																				
木曜日	9	1	3	1	4	3	1				2				1	2	2		316.0 20.0	
金曜日	2	1	1			1				1									2.0	
土曜日	5	1	2	1	1	1				1					1	4			23.0	
不 明																				
合 計	26	4	10	3	9	6	2			2	2				2	6	3		1,456 96	

(4) 月別出動状況

種別 \ 月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合 計	56	6	11	3	3	3	7	7	5	3	4	2	2
建物火災	4	1				1				1		1	
林野火災	10	1	5	1		1	1						1
車両火災	3						2						1
そ の 他	9	2	1	1	1		2				2		
非火災	30	2	5	1	2	1	2	7	5	2	2	1	

(5) 用途別出火原因数

区分 用途別	出 火 件 数	出 火 原 因													
		マ た ツ ば チ こ	こ た つ	火 遊 び	焚 き 火	放 火 の 疑 い	放 火 の 疑 い	コ ン ロ	か ま ど 呂	風 呂	ス ト ー ブ	乾 燥 機	電 気 等 の 配 線 具	電 気 等 の 配 線 具	そ の 他
合 計	26	1			12							2		4	7
集 会 場															
遊 技 場															
飲 食 店															
百 貨 店															
店 舗 等															
旅 館 等															
病 院 等															
学 校 等															
神 社 等															
工 場 等															
倉 庫 等															
事 務 所	1	1													
住 宅	2											1			1
非 住 宅	1											1			
山 林	10				5									2	3
車 両	3													1	2
そ の 他	9				7									1	1

2 過去の火災統計

年次別火災発生件数

区分 \ 年次		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
発生 件数	建物火災	10	9	5	11	4
	林野火災	16	9	12	7	10
	車 両 そ の 他	22	26	18	25	12
	合 計	48	44	35	43	26
損害 額 (千円)	建物火災	7,893	9,977	15,067	35,094	11,505
	林野火災	389	3229	1471	884	
	車 両 そ の 他	238	343	574	140	4,043
	合 計	8,520	13,549	17,112	36,118	15,548

第 7 章 救 急

1 救急の概況

令和7年における救急出動件数は、2,343件で昨年より108件増加している。また、搬送人員も2,150名と昨年より77名の増加となり、1日平均では6.4件出動し5.9名を搬送したことになる。

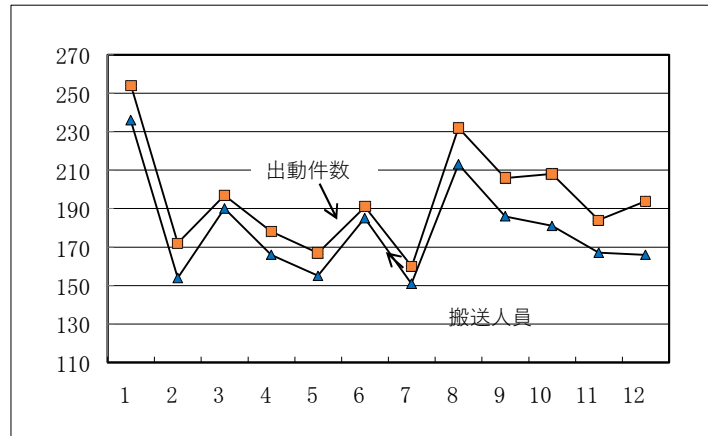
事故種別で見ると、急病が最も多く1,447件（62%）、転院搬送376件（16%）、一般負傷359件（15%）、交通事故111件（5%）であった。

昨年と比較すると、急病76件、一般負傷6件、交通事故26件増加し、転院搬送15件の減少となっている。

（1）事故種別救急件数

区 分 \ 種 別	合 計	救 急 事 故 種 別											
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
												転 院	そ の 他
出 動 件 数	2,343	0	0	6	111	22	8	359	5	7	1,447	376	2
搬 送 人 員	2,150	0	0	0	110	21	6	338	4	6	1,292	373	0

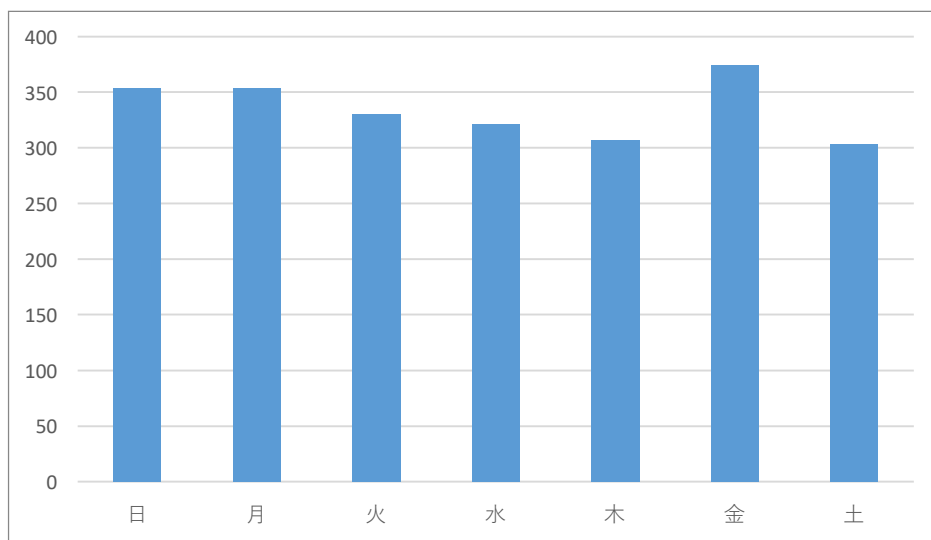
（2）月別発生件数



月 別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
出 動 件 数	2,343	254	172	197	178	167	191	160	232	206	208	184	194
搬 送 人 員	2,150	236	154	190	166	155	185	151	213	186	181	167	166

令和07年

(3) 曜日別出動状況



曜 日 別	日	月	火	水	木	金	土	合 計
出動件数	354	354	330	321	307	374	303	2,343

(4) 医療機関別搬送人員

事故種別			計	交通	一般	急病	その他
医療機関							
医療機関	国公立		815	40	123	472	180
	私	病院	878	52	163	592	71
		診療所	457	18	52	228	159
その他			0	0	0	0	0
合 計			2,150	110	338	1,292	410

(5) 覚知から医療機関等に要した時間別搬送人員

時 間	10分未満	10～20	20～30	30～60	60～120	120分以上	計
急 病	0	40	236	789	224	3	1,292
交 通 事 故	1	2	15	52	38	2	110
一 般 負 傷	0	13	47	217	60	1	338
上 記 以 外	2	10	26	241	130	1	410
計	3	65	324	1,299	452	7	2,150

(6) 時間別救急出動・搬送人員件数

種 別 時 間		計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
													小 計	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
救 急 出 動	合計	2,343	0	0	6	111	22	8	359	5	7	1,447	378	376	0	0	2
	0～2	97	0	0	0	1	1	0	5	1	0	84	5	5	0	0	0
	2～4	67	0	0	0	1	0	0	7	0	0	57	2	2	0	0	0
	4～6	66	0	0	0	4	0	0	7	0	0	52	3	2	0	0	1
	6～8	148	0	0	2	4	0	0	33	0	0	103	6	6	0	0	0
	8～10	344	0	0	0	18	1	0	71	0	0	203	51	51	0	0	0
	10～12	360	0	0	1	17	7	4	56	0	2	184	89	89	0	0	0
	12～14	268	0	0	1	11	3	2	33	0	0	146	72	72	0	0	0
	14～16	279	0	0	1	16	5	1	34	1	1	163	57	56	0	0	1
	16～18	261	0	0	0	18	4	0	45	0	2	131	61	61	0	0	0
	18～20	194	0	0	1	13	1	1	36	2	0	123	17	17	0	0	0
	20～22	151	0	0	0	4	0	0	23	0	1	113	10	10	0	0	0
	22～24	108	0	0	0	4	0	0	9	1	1	88	5	5	0	0	0
搬 送 人 員	合計	2,150	0	0	0	110	21	6	338	4	6	1,292	373	373	0	0	0
	0～2	65	0	0	0	1	1	0	4	1	0	53	5	5	0	0	0
	2～4	56	0	0	0	1	0	0	6	0	0	47	2	2	0	0	0
	4～6	59	0	0	0	5	0	0	7	0	0	45	2	2	0	0	0
	6～8	139	0	0	0	3	0	0	33	0	0	97	6	6	0	0	0
	8～10	333	0	0	0	18	1	0	70	0	0	194	50	50	0	0	0
	10～12	338	0	0	0	19	7	4	49	0	2	169	88	88	0	0	0
	12～14	255	0	0	0	11	3	1	32	0	0	136	72	72	0	0	0
	14～16	266	0	0	0	15	5	0	34	1	1	154	56	56	0	0	0
	16～18	242	0	0	0	14	3	0	41	0	2	122	60	60	0	0	0
	18～20	178	0	0	0	13	1	1	34	2	0	110	17	17	0	0	0
	20～22	135	0	0	0	6	0	0	20	0	1	98	10	10	0	0	0
	22～24	84	0	0	0	4	0	0	8	0	0	67	5	5	0	0	0

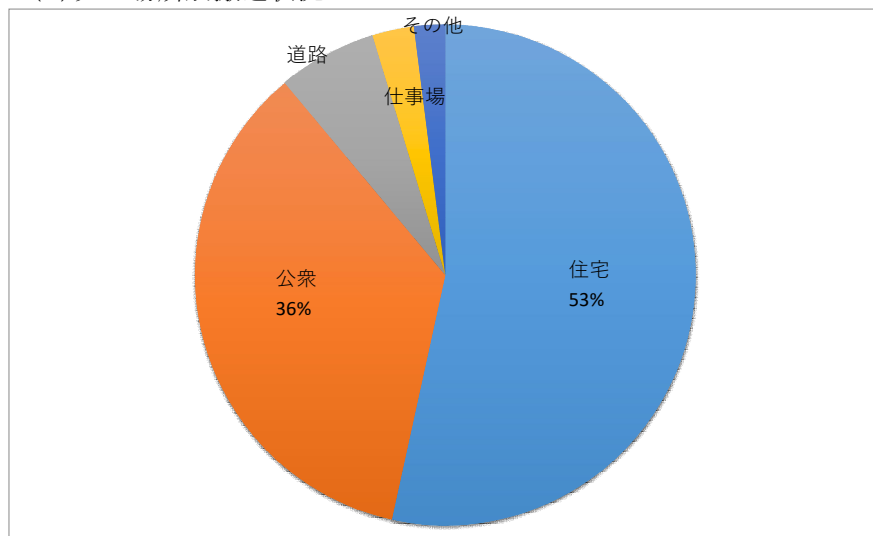
(7) 覚知別救急出動状況

月別 覚知別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合 計	2,343	254	172	197	178	167	191	160	232	206	208	184	194
1 1 9	1,157	137	87	113	103	88	88	81	108	94	87	80	91
携帯 1 1 9	1,128	114	80	84	73	74	96	69	112	108	118	102	98
一般加入	4	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
駆け込み	10	0	0	0	1	0	2	3	1	1	1	1	0
緊急通報	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
警察電話	30	2	4	0	1	1	2	4	7	1	2	1	5
自己覚知	7	0	0	0	0	2	2	1	0	2	0	0	0
そ の 他	5	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0

(8) 傷病程度別搬送状況

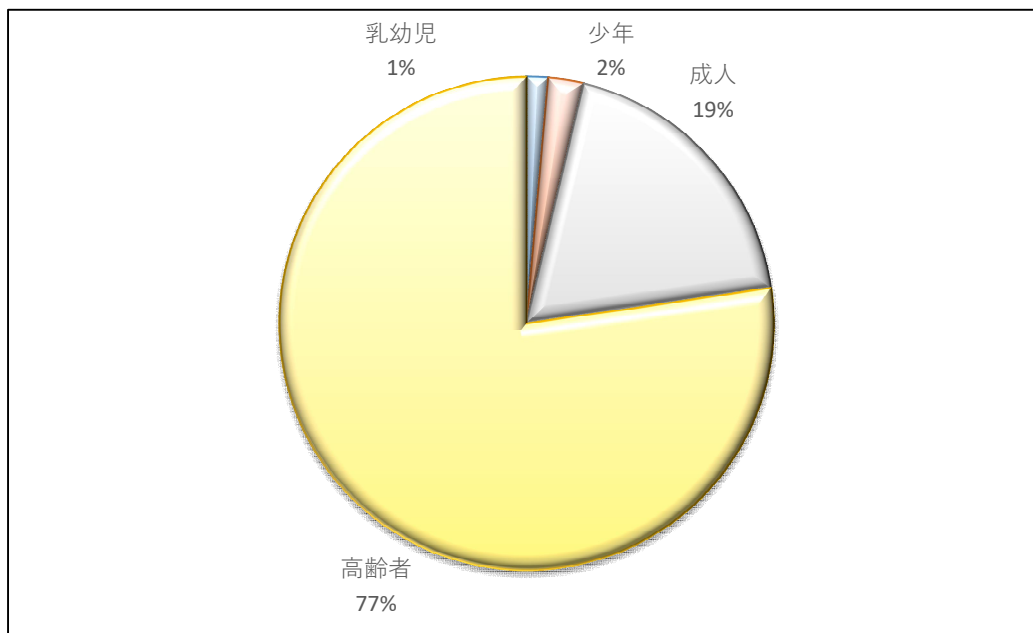
種別	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡	0	0	0	2	0	0	0	1	2	36	0	41
重 症	0	0	0	13	2	1	98	0	0	216	108	438
中 等 症	0	0	0	41	9	3	145	0	2	669	253	1,122
軽 症	0	0	0	54	10	2	95	3	2	371	12	549
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	110	21	6	338	4	6	1,292	373	2,150

(9) 発生場所別搬送状況



住 宅	1,149
公 衆	763
道 路	137
仕事場	58
その他	43
合 計	2,150

(10) 年齢区分別搬送状況



凡 例

新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上7歳未満

少年：7歳以上18歳未満

成人：18歳以上65歳未満

高齢者：65歳以上

新生児	1
乳幼児	30
少年	50
成人	408
高齢者	1,661
計	2,150

(11) 年齢区分別傷害程度状況

区 分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死 亡	0	0	0	4	37	41
重 症	0	1	0	41	396	438
中 等 症	1	13	18	175	915	1,122
軽 症	0	16	32	188	313	549
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合 計	1	30	50	408	1,661	2,150

2 過去の救急統計

(1) 事故別出動状況

種別 年別		計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	
													転院	その他
令和3年	件数	1,980	3	0	2	116	14	2	352	1	9	1031	446	4
令和4年	件数	2,144	0	0	1	79	12	9	404	4	9	1217	403	6
令和5年	件数	2,289	2	0	0	107	14	7	378	4	19	1336	419	3
令和6年	件数	2,235	6	0	0	85	11	7	353	3	6	1371	391	2
令和7年	件数	2,343	0	0	6	111	22	8	359	5	7	1447	376	2

(2) 月別出動状況

種別 年別		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和3年		1,980	167	122	172	130	164	165	173	204	177	146	147	213
令和4年		2,144	188	137	181	145	147	180	195	198	186	177	184	226
令和5年		2,289	184	175	164	148	186	183	235	227	189	192	189	217
令和6年		2,235	222	154	155	150	167	185	233	212	171	196	191	199
令和7年		2,343	254	172	197	178	167	191	160	232	206	208	184	194

第 8 章 救 助

1 救助の概況

令和7年における救助出動件数は43件で、前年と比較し18件の増加となっている。このうち救助活動件数は28件であり、活動を種別毎でみると、交通事故が8件で全体の（28.6％）を占め、水難事故5件（17.9％）、機械による事故3件（10.7％）、建物等による事故2件（7.1％）、その他の事故10件（35.7％）となっている。

活動状況

種 別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 水 災 害 等	事 機 械 に よ る	事 建 物 等 に よ る	酸 ガ 欠 ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
出動件数			16	6		3	7			11	43
活動件数			8	5		3	2			10	28

第 9 章 警 戒 出 動

1 警戒出動の概況

令和7年における警戒出動件数は145件で、出動内訳はPA連携での出動が80件と最も多く全体の（55.2％）を占め、次いでヘリポート警戒38件（26.2％）、油処理9件（6.2％）、行方不明者の捜索5件（3.4％）、その他13件（9％）となっている。

昨年と比較すると、出動件数は5件減少している。PA連携の出動が4件、行方不明者の捜索1件、緊急通報1件、風水害1件、その他が21件減少し、ヘリポート警戒が14件、油処理が9件増加している。

出動内訳

